

若狭ネット

第93号 2005年 9月25日

発行：若狭連帯行動ネットワーク

代表連絡先 福井：「止めなくちゃ！

げんぱつ」連絡会(〒915-0235今立郡今立町不老6-36 山崎方 TEL0778-42-3630) 大阪：日高原
発に反対する大阪の会(〒583-0005藤井寺市惣社1-1-21 久保きよ子方 TEL/FAX 0729-39-5660)
ホームページ <http://www4.ocn.ne.jp/~wakasant/> E-mail: wakasa@gaea.ocn.ne.jp

昨年8月9日

11人が死傷する事故を起こした関電美浜3号 「それでも原発の経済性を優先するんですか」

美浜現地の声を聞こう！

反原子力デーに関電へ行こう！



「おちゃんのパパより」(作業員のかっこうと、町)

美浜3号事故から1年 講演会

美浜町で奮闘する松下さんを囲んで

「げんぱつにたよらないまちづくりをめざして」

日々の活動から、美浜町の様子を伺います。

美浜3号事故で町の様子はどのように変わったか

原子力政策大綱」が仰々しく打ち出されたが…

松下さんの熱い思いに触れる機会です。

10月 23日(日) 午後2時～4時半

場所 東淀川勤労者センター (JR新大阪 駅下車、徒歩7分)



破裂配管の交換工事開始 美浜原発3号

関西電力は9日、昨年8月に11人死傷の2次系配管破断事故が起きた美浜原発3号で、破断した2次系配管を腐食に強いステンレス製に交換するための切り出し作業を始めました。

交換するのは、厚さ約1センチ、直径約55センチの炭素鋼製の配管約56メートルで、リング状の切断装置を配管に取り付けて作業が開始されました。1カ所の切断に2時間かかり、約4メートルずつに分けて撤去するといいます。隣接する同型配管も交換し、作業終了まで約1カ月かかるということです。

この配管は肉厚が0.4ミルまで薄くなって破断したもので、事故後、経済産業省は「技術基準に適合するまで3号の運転停止」を命令していました。関電は今年8月に交換工事の計画書を提出して国から了承を得ていました。工事が終われば、国が現場を確認し、停止命令解除の手続きに入るといことです。

しかし、関電は事故を起こすたびに「安全」を繰り返し発表し、反省しているかのように振る舞っています。実際には、原発を運転する電力会社も国も、事故を起こすたびに、安全性を切り縮めて、原発運転を認めているのです。

今回の事故後、8月に出された原子力政策大綱案では原発の60年運転を打ち出しました。経済産業省は、2006年度から原発の保守点検を大幅に短縮するための研究を本格的に開始する方向を打ち出しています。

「安全」に運転しますと言いますが、実態は、ますます危険な運転に向かっているのです。

火力発電より高くなった原発の発電単価を強引に引き下げするため、原発の長期連続運転や定期検査期間の大幅短縮などにより設備利用率を引き上げようとしています。

今回の事故は、2次系配管の減肉点検を軽

視し、管理指針を遵守せず、点検漏れ発見後もそれを放置し、運転中に定期検査の準備をさせたため、配管が破断し、死傷者がもたらされたのです。

なぜそうなるのでしょうか。

高くつく原発を他の発電と同じくらいに安くするためには、どうしても「安全性」を切り縮めないと競争力に勝てないからなのです。国も原発を持つ電力会社も原発の経済性を優先する政策をとらないと、原発を維持することができないからなのです。

ますます老朽化していく原発は、一日も早く止めていかねばなりません。

このような状況のなかで、10月23日には、原発の町「美浜町」で、「原発に頼らない町作り」を提唱し、実践しておられる松下さんを招き、美浜3号炉事故前後の町の様子、原発の現場で働く人々の様子を語っていただき、脱原発の運動が一步でも前進するように私たちも見つけ直したいと考えます。多くの参加を呼びかけます。

10月26日反原子力デーには、毎年恒例の関電行動を行います。現地の声を参考にしながら、関電に原発からの脱却を申し入れていきたいと思ひます。あなたも、申し入れ文を作っぜひ参加して下さい。

8月16日の地震で女川原発3基が止まる

8月16日、宮城県沖でマグニチュード7.2の地震が起こり、84キロメートルも離れた女川原発の3基とも自動停止しました。

私たちは、短周期振動(ビブリ振動)に弱い原発の耐震設計を見直すことを問題にしてきました。

今回の宮城県沖地震では、女川原発から遠



く離れているので、ビビリ振動はそれほど強くないだろうと思われました。しかし、実際には、そうではありませんでした。

女川原発敷地内の地下岩盤で観測されたビビリ振動の大きさが、原発を建設するときに想定していた振動の限界値を超えてしまったのです。

これは大変なことです。原発の耐震性を考えるとき、これ以上大きなビビリ振動は来ないだろうと思っていたのに、普通の地震によって、限界値を超える大きなビビリ振動が実際に原発を襲ったのですから。

宮城県沖のプレート境界では、まだまだ大きな地震が発生すると、地震学者は警告しています。今まで起こった宮城県沖地震だけを見ても40年ごとにM7.4の地震が多発しています(地震のエネルギーは、マグニチュードMの値が0.2増えると、エネルギーは2倍になります)。こんな状態で、女川原発は、本当に大丈夫なのでしょうか。

今後も、宮城県沖地震、東海地震、東南海地震、南海地震など大きなプレート境界地震

が起こると言われ、また、スラブ内地震の危険性も指摘されています。マグニチュード7クラスの地震をもたらす断層は地表からでは必ずしも発見できないため、いつ、どこでこの規模の地震が起きても不思議ではありません。今の耐震設計審査指針はこれらによるビビリ振動を過小評価していることが今回わかったのです。

原発耐震設計の改訂作業で

今回の地震をどのように生かすのでしょうか

現在、原子力安全委員会でも原発の耐震設計審査指針の見直しが検討されています。しかし、原子力安全委員会事務局は、私たちの7月29日の申し入れを分科会での資料として配布することを拒否し続けています。

私たちは、今回の宮城県沖地震について、9月25日付で原子力安全委員会へ緊急に申し入れを行いました。耐震設計審査指針の根幹を揺がしている女川原発での岩盤観測記録をどのように生かすのか、原子力安全委員会での議論に注目し、耐震設計審査指針の抜本的強化を求めていきたいと思えます。皆様のご協力をお願いします。

老劣化した原発を地震が襲えば一体どうなるのかと思うと、恐ろしいばかりです。

ますます老朽化していく原発は一日も早く止めていかねばなりません。

本日の地震発生に伴い停止した発電設備の状況についてお知らせいたします。

< 女川原子力発電所 >

女川原子力発電所(宮城県牡鹿郡女川町および石巻市)は、通常運転中のところ地震の発生に伴い、11時46分に1号機、2号機、3号機が原子炉自動停止しました。これは、地震発生の際の安全確保策として設計どおり停止したものであり、この自動停止による環境への放射能の影響はありません。

なお、3号機の原子炉建屋にある見学者用ギャラリー室の窓ガラスにひびが入るといった被害があったほか、構内にある環境放射能測定センター屋上に設置されている希硫酸タンクからの希硫酸約45リットルの漏えい等を確認しております。

~~~~~ 今後の予定 ~~~~~

**10月 日（土）午後 時半～4時半**

ＪＣＯ事故を忘れない！

**「ストップ！六ヶ所再処理 原発いらない！市民の集い」**

場所：ドーンセンター 視聴覚スタジオ（京阪 地下鉄 天満橋 駅から徒歩5分）

**10月23日（日）午後2時～4時半**

美浜3号事故から1年 講演会

**美浜町で奮闘する  
松下さんを囲んで**

「げんぱつにたよらないまちづくりをめざして」  
日々の活動から、美浜町の様子を伺います。  
美浜3号事故で町の様子はどのように変わったか  
「原子力政策大綱」が仰々し打ち出されたが・・・  
松下さんの熱い思いに触れる機会です。



場所 東淀川勤労者センター（JR新大阪 駅下車、徒歩7分）

**10月26日（水）午後6時～**（予定）

**反原子力デー  
関電本社申し入れ行動**

場所 関西電力本社（地下鉄四つ橋線 肥後橋 駅下車 徒歩5分）



編集後記

・大型ハリケーン「カトリーナ」。超大国アメリカの近代都市、世界中で戦闘できるアメリカ軍、精密な衛星探査のあるアメリカではあるが、ハリケーンには無力でした。ブッシュ大統領の始動の遅れが最大の原因と非難され、この土地のことをよく知っている兵士3千人もイラクに派遣中で、救援活動も思うように進まず、治安もはかれなかったと報道されていた。

これは、地球温暖化防止京都議定書に批准しないアメリカブッシュ政権への自然からの警告なのでしょうか。

アメリカだけでなく、私たちの足下でも阪神淡路大震災よりもっともっと大きな地震が起こると警告されています。そのとき、原発はどうなるのでしょうか。カトリーナの被害は、私たちにも警鐘を打ち鳴らしているのではないのでしょうか。

きよ子